

2019年(令和元年)

8月20日

火曜日

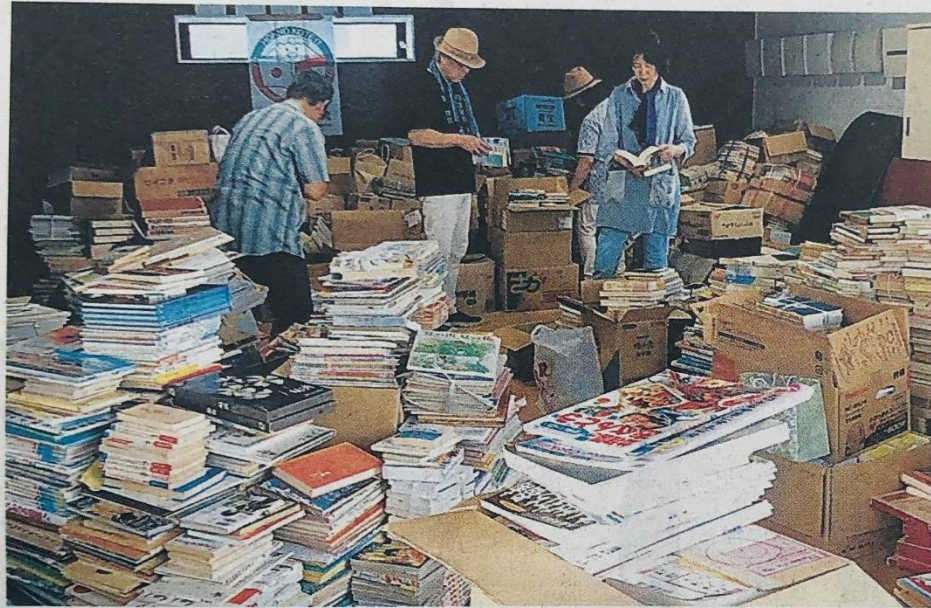
朝日新聞

ハンガリーへ古本 1万冊超

30日出港 ネットで輸送費支援募る

日本とハンガリーの外交関係が開設されて今年で150年になるのにあわせ、ボランティアのグループが集めていた古本の数が、目標を大幅に上回る1万冊超に達した。今月30日に薩摩川内港(薩摩川内市)から同国に向けて送り出す計画で、ネットで寄付を募るクラウドファンディングで輸送費への支援も求めている。

ハンガリー出身のサンデー・ユハスさん(38)は「事業」にも認定された。本良市が「本を通して母国はハンガリーの図書館や学校など18カ所に無償で提供とスタートさせた「本ノコテ」プロジェクトで、両国 サンデーさんは7月25



寄贈された本の仕分け作業に取り組むボランティアスタッフ=始良市(「本ノコテ」プロジェクト提供)

呼びかけたサンデーさん「ほんのこてうれしい」

日に鹿児島県庁に三反園訓知事を訪ねて目標達成を報告。「本なら日本の文化も伝えやすい。多くの本が集まり、ほんのこてうれしい」と県民やボランティアの協力に感謝した。

三反園知事は県職員から寄せられた約千冊の目録を贈り、「ハンガリーの人に本を読んで日本に親しんでもらい、鹿児島にも来てもらえれば」と期待した。

同プロジェクトによると、本は韓国・釜山とドイツ・ハンブルクを経て、10月30日ごろにハンガリーの首都ブダペストに到着する見込み。22日に始良市の倉庫で本をトラックに積み込み、28日には薩摩川内港で船積み確認作業などを予定しており、両国とも一般の参加を歓迎するという。

輸送には約120万円が必要といい、10月10日まで、ウェブページ「CAM PFIRE(キャンペーンファイア)」(<https://cam-p-fire.jp/>)で100円から寄付を受け付ける。

詳細は同プロジェクトのホームページ(www.honokote.com)を。

(ライター・知覧哲郎)